

## 船用主機関 電子制御油圧バルブ状態監視 BOX 製品化のお知らせ

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：寺本 克弘）は、船用2サイクル電子制御主機関に使用される電子制御油圧バルブ（以下油圧バルブ）の状態基準保全（CBM）のための状態監視 BOX を製品化しました。

当社が2010年に本油圧バルブを製品化して以来、累計販売台数は16,000台を超えており、今後は保守対応が重要になってまいります。

本油圧バルブに状態監視 BOX を装備することで、重要コンポーネントである比例制御弁の状態をモニタリングします。モニタリングにより取得したデータを当社独自のアルゴリズムを用いた解析によりバルブの劣化や異常を予知することで、最適なタイミングでのメンテナンスが可能となります。船内で取得したデータは船陸間通信により陸側でも閲覧することが可能です。

これら当社が提供する状態監視システムにより、サービスエンジニアが訪船せず常時リアルタイムで状態を診断、予測できることにより、お客様での保守コストの削減やダウンタイムを極小化出来るようになります。

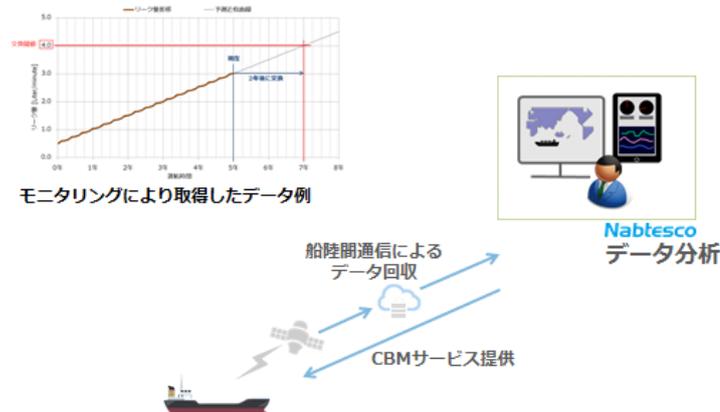
当社はこの技術を他製品へ展開し、CBMの発展に寄与することで、今後も船舶の安全・快適な航海に貢献してまいります。

### ※状態基準保全（CBM）：Condition Based Maintenance

予防保全の考え方の一つで、製品の状態に応じてメンテナンスを行うこと。

不具合発生の未然予防の他に、必要と判断されたタイミングでメンテナンスを実施することで、安定稼働、コスト低減にもつながる。

電子制御油圧バルブ監視システムの概念図



### 【本件に関するお問い合わせ先】

ナブテスコ株式会社 船用カンパニー

営業部 国内営業グループ 担当：正岡宏之 TEL 078-967-5361